

救命入門コース

1 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 救急隊が現場到着するまでの間、胸骨圧迫を継続して実施することができる。 2 自動体外式除細動器（AED）を使用できる。 			
2 標準的な実施要領	<ol style="list-style-type: none"> 1 講習については、実習を主体とする。 2 訓練用資器材一式に対して受講者は5名以内とすることが望ましい。 3 指導者1名に対して受講者は10名以内とすることが望ましい。 			
項目		細目	時間 (分)	
応急手当の重要性		応急手当の目的・必要性（心停止の予防等を含む。）等	120 ～ 60	
救命に必要な 応急手当（主 に成人に対す る方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生 法（実技及び呈 示）		反応の確認、通報
				胸骨圧迫要領
				気道確保要領（呈示又は体験）
				口対口人工呼吸法（呈示又は体験）
				シナリオに対応した反応の確認から胸骨圧迫まで
	AEDの使用法	AEDの使用法（口頭又はビデオ等）		
		AEDの実技要領		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1 WEB方式による講習を可能とする。 2 普及時間を分割した講習を可能とする。 			